

京都の伝統産業

Traditional Industries of Kyoto

京葛籠



葛籠は、竹を割り剥ぎ、籠を編み、角にかやを張り、和紙を張って、さらに漆を施して仕上げるが、この間の工程は全部で 15。主に婚礼用の衣装籠、呉服・茶道具両用籠等を中心に、乱れ籠、手文庫、小物入れ等が作られている。最近では、相撲力士のまわしなどを入れる「明荷」と呼ばれる衣装箱にも利用されている。

制作：京都市

京都の伝統産業

Traditional Industries of Kyoto

京葛籠



葛籠は、竹を割り剥ぎ、籠を編み、角にかやを張り、和紙を張って、さらに漆を施して仕上げるが、この間の工程は全部で 15。主に婚礼用の衣装籠、呉服・茶道具両用籠等を中心に、乱れ籠、手文庫、小物入れ等が作られている。最近では、相撲力士のまわしなどを入れる「明荷」と呼ばれる衣装箱にも利用されている。

制作：京都市